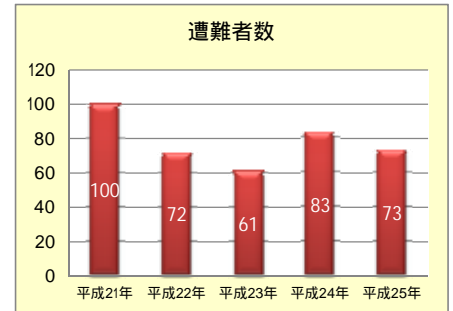
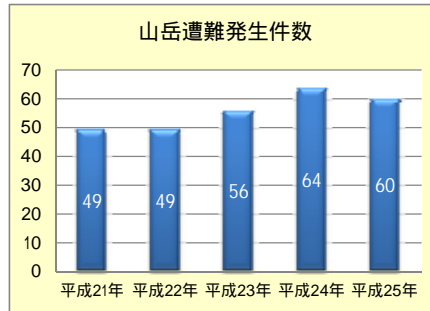


過去5年間の山岳遭難発生状況（北海道）

発生状況

年	件数	遭難者	遭難者			
			死亡	負傷	無事	不明
平成21年	49	100	14	25	60	1
平成22年	49	72	9	20	41	2
平成23年	56	61	5	27	28	1
平成24年	64	83	7	30	46	0
平成25年	60	73	10	36	26	1

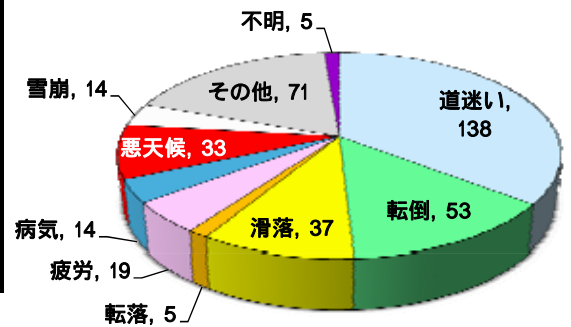


平成25年の山岳遭難発生件数は60件で、前年よりも4件減少しましたが、依然として発生が多い状況です。登山は常に遭難と隣り合わせで、ちょっとした油断が事故を招きます。登山前には、体力、知識、装備をしっかりと準備し、現地の天候を確認した上で余裕を持った計画で行動しましょう。

原因別（人数）

年	遭難者	原因別										
		道迷い	転倒	滑落	転落	疲労	病気	悪天候	雪崩	その他	不明	
平成21年	100	41	9	5	2	10	1	25	5	1	1	
平成22年	72	15	10	5	0	3	1	1	1	35	1	
平成23年	61	24	10	10	1	2	6	0	1	6	1	
平成24年	83	33	14	5	0	2	5	1	2	20	1	
平成25年	73	25	10	12	2	2	1	6	5	9	1	
合計	389	138	53	37	5	19	14	33	14	71	5	

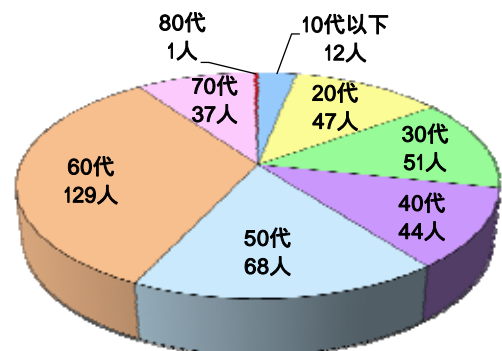
過去5年間の遭難原因



年齢別（人数）

年	遭難者	年代別							
		10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
平成21年	100	2	6	19	10	16	42	5	0
平成22年	72	5	9	4	5	16	25	8	0
平成23年	61	0	4	10	9	8	23	7	0
平成24年	83	2	18	8	9	13	22	10	1
平成25年	73	3	10	10	11	15	17	7	0
合計	389	12	47	51	44	68	129	37	1

過去5年間の山岳遭難者年代別



登山計画書提出状況

	警察受案件数	遭難件数	遭難者の提出件数	遭難者の提出率
平成21年	1,694	49	14	28.6%
平成22年	1,783	49	7	14.3%
平成23年	2,094	56	14	25.0%
平成24年	2,910	64	21	32.8%
平成25年	3,338	60	17	28.3%

『登山計画書』の提出について

～登山計画書は自分の生命を守るザイルです～

登山計画書の作成、提出を求める理由には、
 ・ 計画段階で登山ルートの確認や必要な装備をしっかりと準備できる
 ・ 遭難事故発生時に場所を絞った迅速な捜索救助活動が行える
 ・ 家族や関係者を安心させることができる
 などがあり、登山計画書を提出したことで命拾ったというケースもあります。

登山計画書の提出先は警察署や交番、駐在所等のほか、北海道警察本部ホームページの「安全登山情報」から電子メールで送信することも可能です。